



# 光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

## おめでとう！ 小・中学部、高等部入学

### 桜が祝う光明学園！

小学部への就学、中学部への入学、高等部入学、おめでとうございます。新たな学園生を迎えようと中庭の桜が花吹雪を飛ばして待っていました。



(写真)

## 平成31年度の学園教育がスタート！

開校3年目となる平成31年度の教育がスタートしました。あらためまして校長の田村康二郎（タムラコウジロウ）です。一層の教育充実を目指して力強く進んでまいります。どうぞよろしくお祈りします。

本年度の組織・規模の概要をお知らせします。

田村康二郎	統括校長	／両部門の教育統括
工藤 重定	経営企画課長	／事務部門の統括
泉 慎一	副校長	／S部門中・高等部統括
秋本 友美	副校長	／S部門小学部統括
宮越 弘子	副校長着任	／B部門全学部及び分教室統括 (都立城東特別支援学校より着任)

※ S部門＝肢体不自由教育部門の略称

B部門＝病弱教育部門の略称

※前任の佐々木副校長は、都立小平特別支援学校に転出いたしました。

<学校規模> 4月3日現在です。日々変動しています。

全学園生数 212名 前年度5月から +3人

全教職員数 212名 前年度5月から -1人

## 報告！ 4/8 (月) 始業式で在校生の学校生活スタート！

学習の節目である各学期の始業式・終業式・修了式は、両部門の学園生が一堂に会し、表彰や通知表授与、学習活動の報告等も行う「集団の場を学ぶ」大切な教育活動です。学校生活を支えてくださる職員・スクールバス乗務員さん等も紹介し、日々の生活を支えてくださる方々

に感謝し、学びの一つとしました。

## 説明：本学園の入学式の在り方について

本学園では、入学式は小・中学部の義務教育と後期中等教育の高等部に分けて行っています。日頃の授業は別々ですが、こうした儀式では同じ年代の多様な友達と一緒に儀式に参加できるようにプランしています。

◆9日は本校小・中学部入学式です。(今回はB部門の新生はいません。) ◆同日：分教室の入学式も行います。

◆10日は本校高等部入学式です。両部門合同で行います。◆S：在宅訪問学級と B：病院訪問学級の入学式は、学園生の体調等を考慮し、御自宅や入院先のベッドサイドでこの時期に別途行います。

## 2部門・2拠点・5指導形態、1舎の全容

改めて光明学園の指導形態をお知らせします。

### ◆本校拠点で学ぶ学園生

- 肢体不自由教育部門 … 自宅通学生への指導
- … 在宅訪問による指導
- 病弱教育部門 … 寄宿舍通学生への指導
- 寄宿舍< B部門本校在籍、S部門島嶼等の方>

### ◆分教室拠点で学ぶ学園生 成育医療研究センター内

- 病弱教育部門 … そよ風分教室での指導
- (各病院入院の方) … 病院訪問による指導

学ぶ場は離れていても、一つの学園として愛校精神を育て、母校に誇りがもてるように指導していきます。

## 4/12 (金) に全校保護者会を開催します

年度初めの全校保護者会では、以下の内容を御説明いたします。／着任副校長等の御紹介／今年度の光明学園の教育(学校経営計画のポイント)／学級編制と指導体制／医療的ケア児の通学車両や人工呼吸器等の管理モデル事業概要他。本学園では家庭と学校の共通理解の要となる保護者会を大変重視しています。学校教育と家庭教育の役割を踏まえながら、協力し合って、お子様を育成していきます。力を合わせ、お子様の前途に「光」を照らしていきます。

## <指導体制、学年・学級編制等>の構築に当たって

各学年・学級の編制及び指導担当教職員につきましては、最初の登校日（始業式日又は各入学式日）に配布の学年通信等によりお知らせいたします。

なお、各学級の編制に当たっては、都教育委員会が定める基準を踏まえ、下記の観点で行いました。

### 普通学級と重度・重複学級の考え方

東京都が定める特別支援学校学級編制基準では、  
小・中学部普通学級は6名以内／担任1名  
高等部普通学級は8名以内／担任1名  
小中高の重度・重複学級は3名以内／担任1名  
小中高の病院訪問学級は3名以内／担任1名  
小中高の在宅訪問学級は3名以内／担任1名  
と定められています。

**重度・重複学級**は特に少人数の学級ですので、担当教員との固定的な関係を重視し、きめ細かく指導・介護ができる利点があり、健康・発達面で特段の配慮が必要なお子さんに向いています。

**普通学級**は、クラスの人数が多い分、多様な刺激を受け人間関係等が広がりやすい良さがあります。

ところで、普通学級数は児童・生徒数に応じて配当されますので、例えば、小1児童が6名だと1学級、7名だと2学級と人数規模に応じ学級数が自動的に増減します。一方、重度・重複学級数の総数は全都で定められており、都内全校の在籍者や入学予定者の実態を都教育委員会が詳しく調査・観察した上で、前年度末までに学校毎の配当学級数が決まるところが、普通学級の増減と異なるところです。

本校では、重度・重複学級の編制に当たっては、上記の考え方に基づき、特別支援教育の専門家として、お子様の実態を踏まえて行いました。更に学校生活の基盤は何と言っても学級ですので同学年で一つの学級となるように工夫して編制しました。両部門全学部の学年・学級の一覧は、高等部入学生を迎える4月10日（水）に配布としています。御覧ください。

### 担任教職員等の配置の考え方

都教育委員会基準では、小・中学校と同様に特別支援学校も1学級1名の教員配置となっています。これとは別に特別支援学校の教職員配置基準により学校全体に配置される教職員数を各学級の実態に応じて更に加え、複

数担任配置としている場合もあります。本校では、配置された教員と学校介護職員（S部門のみ）を男女バランス、所持する教員免許や指導・介護経験等を加味してより良い指導体制となるように配置しました。

## 隣接の「うめとぴあ」の民間棟が開所しました！

梅ヶ丘病院跡地に、世田谷区の保健医療福祉の全区的拠点「うめとぴあ」の民間棟が完成し、東京リハビリテーションセンター世田谷として運営を開始しました。障害児サービスとして「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「保育所訪問支援・技術支援」、障害者サービスとして「施設入所支援」「生活介護」「自立訓練」「短期入所」、相談支援として「期間相談支援センター」「相談支援事業所」、そして在宅障害児者への訪問サービスと様々な機能を有するセンターです。母体の光明学校松原校舎が開校した昭和14年頃には、歌人：齋藤茂吉が院長を務めた「青山脳病院」があった土地です。その後は変遷があって小児専門の都立梅ヶ丘病院となりました。そこは特別支援学校のお子さんが通院・入院で関わった地でもあります。庭の一角には、茂吉の歌を添えて梅ヶ丘病院の記念碑が大事に建立されています。

（写真）その後方には、夏には完成する建築中の本校新校舎西棟が見えます。建築中の覆いも外され、イエロートーンの外観が分ります。

ちなみに新校舎の敷地は、梅ヶ丘病院内の青鳥養護学校梅ヶ丘分教室のあった場所です。



## 学園仕様のラッピング飲料自販機を設置！

S棟前の飲料自販機の契約満了に伴い、新たな飲料自販機を体育館入口通路（テニスコート入口横）に設置しました。（写真）従来の場所は、2学期から新工事エリアに入るため、予め場所を移しました。新機には、本校オリジナルのラッピングが施されています。正門横に昨年設置したウェルカムボードのデザインを取り入れ、校訓も記



しました。ICカード払い機能は今後取り付けます。本機は災害ベンダー契約を結んでいますので、震災時には、学校判断で、中の飲料（最大500本）を非常時の飲料として無料で取り出せます。

校長 田村 康二郎